

第 3 回 通 常 総 会 記 録

日 時 昭和47年 5月31日 午後 1時半

場 所 昭和会館ホール

明るく健康な農村を築きあげることが目的として発足した当研究会は、会員の方々及び関係諸機関のご協力によりまして、第3回の通常総会を迎えるはこびと相成りました。調査研究も着々とすすみ、その実績は会誌第3巻で発表することができました。

本総会は、97名の出席と委任状73通で定刻に開催され、議案審議もとどこおりなく進められ、最後に東京医科歯科大学の柳沢教授の特別講演「社会医学よりみた出稼ぎの問題点について」を拝聴し無事総会を終了することができました。

以下総会の議事の概要と提出資料を掲載し参考に供します。

議 事 の 概 要

- 会員総数 233名 うち出席97名 委任状73名
- 会 長 挨拶 豊 田 文 一
- 来 賓 祝 詞 中田富山県知事（渋谷県厚生部次長代読）
- 議 長 選 任 富山市民病院 石田礼二氏議長となる
- 議事録署名者および書記指名 議長次の者を指名

議事録署名人 小杉町 宮 崎 平 三 富山市 竹 島 和 子

書 記 谷 田 善 徳 石 倉 俊 宣

議 事

- 第1号議案 昭和46年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について
事業の概要と主なる行事の報告に併せ収支決算について報告承認を得た。
- 第2号議案 昭和47年度事業計画及び収支予算案承認について
昭和47年度の事業計画と収支計画案を説明し承認を得た。
- 第3号議案 定款の一部変更について
定款第22条、通常総会は毎年1回4月または5月に開催する。とあるを
通常総会は毎年1回5月または6月に開催すると変更することに決定された。
- 第4号議案 役員の補欠選任について

	旧	退任理由	後任
県農産普及課長	伊 東 達 雄	(転勤の為)	穴 口 市 良
県農協青年部長	小 川 外 吉	(青年部の任 期満了の為)	荒 川 邦 彦

以上お2人の補欠選任が決定された。

特 別 講 演

東京医科歯科大学教授 柳 沢 文 徳 氏

演 題 (社会医学よりみた出稼ぎの問題点について)

講演録 1 頁～ 18 頁に掲載

事業報告書

昭和46年4月1日～昭和47年3月31日

昭和46年度終了にあたり、ここに事業の概況ならびに決算関係諸表をご報告申し上げます。

本年は前年度に引続き本会に課せられた使命ののっとり、本県における農山村の実態を医学的に調査研究し、総合的な把握を行ないながら健康な農山村を築き上げるための努力を続けてまいりました。

当初計画に基く調査研究の各事項については富山県農村医学研究会誌第3巻にそれぞれの業績を掲載することができました。尚事業計画のうち産業災害の調査の業績については日本農村医学会雑誌(全国版)47年8月頃出版予定に掲載されることになっております。

このように第3年度も関係者各位のご理解とご協力によって順調に事業を進めさせていただきましたことを深く感謝申し上げる次第であります。

主なる事業

年月日	主なる行事		
46. 4. 27	役員会開催	於 厚生連会議室	事業計画について 他
46. 5. 11	役員会開催	於 農協会館5階会議室	総会附議事項について
46. 5. 22	第2回通常総会	於 昭和会館ホール	
	特別講演	衆議院議員	吉田 実氏
46. 7. 13	役員会開催	於 農協中央会会議室	新年度事業実施計画について
46. 11. 11	役員会開催	於 厚生連会議室	雑誌編集について
46. 12. 13	編集委員会	於 厚生連会議室	原稿募集について
46. 12. 23	役員会開催	於 厚生連会議室	47年度予算と研究事項中間発表について
47. 3. 10	役員会開催	於 農協会館5階会議室	46年度収支決算と47年度事業計画について

財産目録

昭和47年3月31日

内 訳	金 額	
預 金	328,345	
計	328,345	

昭和46年度 収 支 決 算 書

自昭和46年4月1日 至昭和47年3月31日

項	目	子 算 額	実 績	差 引 増 減
会 費 収 入		60,000	45,000	△ 15,000
	会 費	60,000	45,000	△ 15,000
援 助 収 入		2,050,000	2,050,000	0
	助 成 金	1,000,000	1,000,000	0
	特 別 負 担 金	1,050,000	1,050,000	0
雑 収 入		24,269	21,103	△ 3,166
	雑 収 入	24,269	21,103	△ 3,166
前 期 繰 越		655,731	655,731	0
収 入 計		2,790,000	2,771,834	△ 18,166
会 議 費		320,000	240,666	△ 79,334
	総 会 費	50,000	60,120	10,120
	役 員 会 費	120,000	123,520	3,520
	専 門 委 員 会 費	100,000	8,000	△ 92,000
	編 集 委 員 会 費	50,000	49,026	△ 974
事 業 費		2,000,000	1,876,063	△ 123,937
	研 究 調 査 費	1,500,000	1,376,120	△ 123,880
	研 究 集 会 費	120,000	0	△ 120,000
	雑 誌 発 行 費	300,000	445,000	145,000
	通 信 費	40,000	39,085	△ 915
	消 耗 備 品 費	20,000	7,358	△ 12,642
	備 品 ・ 什 器	20,000	8,500	△ 11,500
旅 費 交 通 費		250,000	233,150	△ 16,850
	旅 費 交 通 費	250,000	233,150	△ 16,850
事 務 費		50,000	50,000	0
	事 務 費	50,000	50,000	0
雑 費		30,000	17,000	△ 13,000
	雑 費	30,000	17,000	△ 13,000
子 備 費		140,000	26,610	△ 113,390
	子 備 費	140,000	26,610	△ 113,390
次 期 繰 越			328,345	328,345
費 用 計		2,790,000	2,771,834	△ 18,166
差 引		0	0	0

事業計画書

(昭和47年4月1日～昭和48年3月31日)

1. 職業性疾患の調査研究

潜在性疾病、農夫症、薄い血等の調査研究

2. 産業災害の調査研究

農業用機械による災害及自動車等による災害調査研究

3. 健康管理についての調査研究

農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導（寄生虫対策等の指導教育）

農山村民の健康管理の調査研究

4. 農村特有疾患の調査研究

伝染病、風土病等多発性疾患の疫学について調査研究

5. 社会学的、経済学的の調査研究

出かせぎ等による経済学的、社会学的問題の調査研究

6. その他目的達成に必要な事項

富山県農村医学研究会

昭和47年度 収 支 予 算 書 (案)

自昭和47年4月1日 至昭和48年3月31日

収 入 の 部			
項	目	予 算 額	内 訳
会 費 収 入		60,000	
	会 費	60,000	会費 200人× 300円
援 助 収 入		3,000,000	
	助 成 金	1,500,000	県費助成金
	特 別 負 担 金	1,500,000	農協各連負担金
雑 収 入		21,655	
	雑 収 入	21,655	預金利息その他
前 期 繰 越		328,345	
合 計		3,410,000	

支 出 の 部			
項	目	予 算 額	内 訳
会 議 費		350,000	
	総 会 費	80,000	会場借上料、資料代など
	役 員 会 費	120,000	年12回会場借上料など
	専 門 委 員 会 費	100,000	委員会開催費用
	編 集 委 員 会 費	50,000	雑誌、編集委員会費用
事 業 費		2,690,000	
	研 究 調 査 費	2,050,000	研究調査費、学会参加旅費
	研 究 集 会 費	100,000	学会々場借上料その他 会場設備費、資料及案内状 印刷代、講師謝礼、集会雑費
	雑 誌 発 行 費	450,000	年1回 500部
	通 信 費	50,000	
	消 耗 備 品 費	20,000	事務用消耗品、その他
	備 品 ・ 什 器	20,000	書庫など
旅 費 交 通 費		250,000	
	旅 費 交 通 費	250,000	役員会旅費、専門委員会旅費
事 務 費		50,000	
	事 務 費	50,000	
雑 費		50,000	
	雑 費	50,000	印紙代、その他
予 備 費		20,000	
	予 備 費	20,000	
合 計		3,410,000	

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

- 募 集 原 稿** 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。
- 投 稿 の 資 格** 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。
- 原 稿 の 送 り 先** 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪 2 番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字Mocacus rhesus, 山椒藻Salvinabatah 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m、センチメートル cm、グラム g、キログラム kg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴジツクの使用等に気をつけて下さい。
4. 図書は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図書の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭40. 5のごとく）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学会誌第4巻をお届けできて誠に喜びにたえません。

前巻(第3巻)発行の前後、県内農村婦人の貧血が緊急の課題として採り上げられ急遽その実態把握に努めることとなりましたが、本誌はそれらに関するものが主体となっており、貧血特集号と呼んで差支えないものと自負しております。

また今回は公害……大気汚染・騒音が農村に与える影響の一端についてのご投稿があり、本会の新しい研究活動への示唆が得られたことをつけ加えるべきかと存じます。

最後に会員日より「山里の火を消すな」はともすると忘れられがちな農村、お座なりになりがちな農村対策へ活を入れるものとして誠に心強いものであり、その趣旨はもとより会員各位の胸に沁みこんでいるものと思いますが、今後の活動の中により一層活かしていきたいものであります。

今回は締切期日が1ヵ月延期になった関係か、原稿の集まりは比較的smoothでありました。今後とも会員各位奮っての御投稿を期待してやみません。

Y. H

編 集 委 員 長谷田祐作、越山 健二、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第4巻 昭和48年3月25日・昭和48年3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)41-7261
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩井久作
印刷所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三島町 電話0765-52-0112
